

【回答用紙】2012年守谷市議会議員立候補予定者へのエネルギー政策に関するアンケート

フリガナ フルヤカズナリ		
お名前 古谷一成	年齢 56	現職・ 新人 (どちらかに○)
所属会派 (現職のみ) (回答なし)	所属政党 (回答なし)	
ホームページ (お持ちであれば) : HTTP://www.furuyakazunari.com		

1 エネルギーに関する基本的な考え方 (選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック)

- 今後も既存の化石燃料・原子力を基軸とし、省エネと技術革新に期待する
- 基軸は既存のエネルギー源とすべきだが、原子力だけは減らしていくべき
- 自然エネルギーへの転換を早急かつ段階的に図るべきである
- 自然エネルギー推進には反対しないが課題が多く将来的な技術であり過剰な期待は禁物である
- 重要な課題だがまずは国が主導すべき課題につき自らの考えを明示する必要はない
- 該当なし

2 エネルギーに関する基本的な考え方 (自由記述。300字程度)

産業革命以降、我々は内燃機関に頼り過ぎてきたことを深く反省すべきである。元々、内燃機関のエネルギー変換効率は3割位でしかなく、大半は熱と二酸化炭素として放出してしまう。地球環境を悪化させる元凶であることをしっかり認識しておかなければならない。新興工業国の経済発展等も併せ、ますます地球環境破壊を進行させる恐れがあり、速やかなるクリーンエネルギー転換政策を地球規模で展開させる必要がる。

3 日本の核燃料サイクルについて (選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック)

- 核燃料サイクル計画は既に破綻しており、撤退すべき
- 万難を排し、技術開発により核燃料サイクルを実施していくべき
- 将来的な原子力技術の展望に期待し、現状の核燃料サイクル自体に打開策がなくても継続すべき
- 該当なし

4 ピークオイル問題について (選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック)

- よく知っているし、対策も考えてきた
- 聞いたことはあるが具体的な対処はしていない
- 初めて目にした
- 内容は理解しているが対処する必要なし
- 該当なし

5 東海第2原子力発電所の再稼働について（選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック）

- 絶対反対であり市議会で稼働反対の意見書を採択すべき
- 安全対策を徹底した上で判断すべき
- 安全対策を前提に、急ぐ必要はないが再稼働すべき
- 該当なし

6 今後、守谷市にて推進すべきエネルギー関連施策としてどのようなものをお考えでしょうか。（自由記述。300字程度）

施策：エネルギー利用の考え方は、供給側と利用側の2者の他に、地球環境と云うグローバルな観点も今後、検討する必要がある。

一応、産総研勤務ですので、太陽光発電がクリーンエネルギーの主力となるようですが、水の豊かな守谷市は、小水力発電や守谷農業従事者支援策としてバイオ燃料などを検討したら如何でしょうか。

7 エネルギー政策で参考にすべき国内外の自治体があれば挙げてください。（3箇所まで）

①自治体名：長野県内の農業用水を利用した小水力発電施設

理由：

<http://www.pref.nagano.jp/nousei/nochi/suiryoku/index.htm>

<http://www.pref.nagano.jp/kankyo/ondanka/kashokai.htm>

小水力発電とは、水の落差を利用した発電で、1,000～10,000kWの水力による発電に区分されていますが、一般的には比較的小規模なミニ水力、マイクロ水力に区分されるものも含めた総称として用いられています。

「新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法施行令」（RPS法）の対象が1,000kW以下とされたため、おおむね、この規模を小水力発電としてとらえることができます。小水力発電の特徴としては下記があげられます。

（1）安定した電力源

太陽光発電のように天候の影響を受けにくいため、安定した電力の供給が可能です。

（2）環境貢献

化石燃料を使用した発電に代わるものとして、クリーンな循環エネルギーである水力を利用しているため、CO₂排出抑制効果があります。エネルギーを地産地消することにより、他の地域へ環境負荷を与えることはありません。

②自治体名：より環境に優しいバイオマス燃料の製造プラントの開発を開始 — 産総研

理由：

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2008/pr20080131/pr20080131.html

つくば市、独立行政法人 産業技術総合研究所が研究する環境負荷の小さい「中小規模雑植

性バイオマスエタノール燃料製造プラントの開発実証」を紹介。

人間が利用しやすい電気に変換するには、建設費用の掛かり、開発行為による環境破壊となる水力発電、大量の化石燃料を使用し、二酸化炭素を排出する火力発電などがある。自然エネルギーを電気に変換するのは、膨大な敷地および費用が必要であることも理解しなければならない。バイオ燃料などの原料は、農業従事者が生産することは可能であるが、原料からバイオ燃料を取り出すには、工業設備が必要であり、濃硫酸などが漏れれば環境汚染に結びつく触媒が必要なことも理解しておく必要があります。なるべく環境に優しい自然エネルギーへの取り組みが必要です。

③自治体名：欧州の洋上風力発電

理由：

風力発電は、イギリス、デンマーク、ドイツなどが欧州が活発に導入を行っています。圧倒される景観ですが、風力発電は、実は、低周波騒音が問題となり、海外では洋上に風力発電所を設けています。

8 原発の海外への輸出について（選択回答。最もお考えに近い項目に1つのみチェック）

賛成

反対

どちらとも言えない

以上、ご協力ありがとうございました。